

ふよう教室だより

鳥取大学附属特別支援学校

2011. 5. 20 (金)

No54

今年もスタートします！！



本日から、平成23年度の『ふよう教室』が始まりました。本年度は年中さんから小学4年生までの14名で、新しいメンバーは2名でのスタートとなりました。この一年が子どもたちの成長にとって、よりよい時間やきっかけとなりますように、保護者および関係機関の方々とともに、本校全教職員が子どもたちに関わらせていただきたいと思います。本年度も、【小・中】【小・高】【小・専】と学部教職員がローテーションで担当していきます。一人一人の子どもさんが慣れるまでに少し時間がかかるかもしれませんが、精一杯取り組んでいきますので、よろしくお願いします。保護者の皆さんも、子どもさんと一緒に身体を動かして遊んだり、情報交換をしたりして有意義な時間を過ごしてください。



本年度の予定

5月20日、7月8日

8月10日 (この日は、時間帯が変わります。詳細は後日)

9月30日、10月21日、11月11日、1月20日

2月3日 *午後2時から始まります。

*欠席される場合は、早めにご連絡ください。

【にここ相談会】

個々の相談にあたります。ご希望の方は、随時、受付で申し込んで下さい。保護者の方々のニーズに応じて、簡単な研修会も考えています。

感覚は脳の栄養です。「からだづくり」は運動発達だけでなく、脳と心の発達、そしてコミュニケーションの発達にとって欠かすことのできない大切な活動です。『ふよう教室』では、様々な遊び(運動を含めて)の経験を通して発達を促す手助けができればと考えています。疑問点や要望等がありましたら、スタッフまでお伝えください。

《遊びが持っている栄養分(発達を促す要素)》楽しく遊べるのであれば、どの遊びをしてもよいのですが、発達をより促すような要素を含む遊びがはっきりしている場合は、それを家庭でもすることで一層変化が見られると思います。

*感覚刺激を楽しむ遊び

①揺れや回転を楽しむ(前庭覚)

自分の身体の揺れやスピード感、傾きを感じる感覚



②触って楽しむ(触覚)

触ったり触られたりすることを感じる感覚



③グッと力が入る感じを楽しむ(固有受容覚)

身体の筋肉や関節からの情報を感じる感覚(トランポリンを跳ねる時、体をぎゅっと抱きしめられる時に刺激される)



④聞いて楽しむ(聴覚)



⑤見て楽しむ(視覚)



*感覚刺激を使って考える遊び

①触って考える遊び(触覚探索)

目で見えていなくても触った物の感触で判断する。(指先の細かな動作)



②見て考える遊び(視知覚)

形や色の判別等の様々な概念を作る下地となる。



一人一人の子どもの育ちを振り返り、十分に経験できていなかったことやじっくりと取り組んだ方がよいこと等、一緒に考えていきましょう。次回は、「考えながら動きを作る遊び」、「正確な動きを促す遊び」について紹介します。